

【第1部】三線演奏会：未来へ紡ぐ、祝いの音色（14:00～）

新しくなった公民館の門出と首里城の完成を、美しく力強い三線の音色と歌声で祝福します。

◆ 記念演奏：田淵 愛子（たぶち あいこ）氏 （琉球古典音楽安富祖流絃聲会 師範）



岡山県出身。沖縄県立芸術大学大学院修了。人間国宝・照喜名朝一氏に師事し、琉球古典芸能コンクール最高賞を受賞。2024年には伝統芸能の振興に貢献した者に贈られる「第44回松尾芸能賞 新人賞（琉球音楽部門初の受賞）」に輝く。数少ない県外出身の女性実演家として、リサイタルの開催や国内外での演奏活動に加え、次世代へ伝統を繋ぐ「子ども達に三線の音色を届けるプロジェクト」を精力的に主宰。確かな技術と温かい指導で、当館の三線講座でも講師を務める。



◆ 受講生発表：公民館講座受講生による演奏披露

当館の講座で三線に挑戦した地域から集った幅広い世代の受講生たちが合同ステージに立ちます！子育てや日々の生活の合間に熱心に練習を重ね、見事マスターした皆さんの晴れ舞台。講師である田淵愛子氏との心温まる共演と、世代を超えた息の合った演奏をぜひお楽しみください。

【第2部】記念講演：鎌倉芳太郎が救った琉球の文化（14:45～）

大正時代、首里城の取り壊し危機を救い、その詳細な記録を残したことで、今回の「令和の復元」の大きな手がかりを作った恩人・鎌倉芳太郎。彼が守り抜いた琉球の歴史ロマンに迫ります。

◆ 講師：波照間 永吉 氏 （沖縄県立芸術大学 名誉教授 / 元附属研究所所長）



石垣島出身。沖縄県立芸術大学名誉教授。琉球文学の研究の第一線で活躍中、沖縄文化の保存・継承において多大な功績を残す。同大の「附属研究所所長」在任時には、鎌倉芳太郎が遺した膨大な写真やノートなど、後に国宝に指定される貴重な資料の整理・研究を牽引。鎌倉芳太郎の「生の声」や「息遣い」を誰よりも深く知る研究者として、大正期に首里城を救い、令和の復元へと繋がった歴史の真実を熱く、分かりやすく語ります。現在『琉球文学大系』（全35巻）（名桜大学編・ゆまに書房刊）の編集委員長を務める。